

# 新しい薬学をめざして

Vol.41 No.5  
2012.6.1

発行 新薬学研究者技術者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8 E-mail shin-yakugaku@tea.ocn.ne.jp  
(有)大阪ファルマプラン・あおぞら薬局 気付 郵便振替口座 01090-8-16463  
TEL 06-6477-8080 (担当 稲垣) FAX 06-6477-8082 URL http://pha.jp/shin-yakugaku/



## 夕張—福島（原発事故）—沖縄（普天間基地）そしてTPP 「諸悪の根源」としての日米安保体制

石田 悟

### 映画「幸せの黄色いハンカチ」

私が生まれ育った夕張は、山田洋次監督による映画「幸せの黄色いハンカチ」の舞台となった所でもある。夕張という地名は、アイヌ語の「ユーパロ」（意味は「鉱泉の湧き出る所」）に由来する。映画で、妻（倍賞千恵子）が待つハーモニカ長屋（下請け、孫請け炭鉱夫専用の夕張市福住という場所にあった棟割住宅）に戻るとき、車の中で、主演の高倉健がドライバーの武田鉄也に、「そこを左に曲がると風呂屋が見えるだろう？」と語る場面がある。「その風呂屋」は乳白色をした温泉で、三交代勤務の炭鉱労働者がそれぞれの時間帯の仕事を終わると最初に立ち寄る所であった。

何故なら、ハーモニカ長屋には内風呂がなく、炭塵で真っ黒になった身体を洗い流す必要があったからである。24時間ひらいていた「その風呂屋」はいつも賑い、子どもたちの笑い声の絶えない、地域の社交場でもあった。5歳頃まで福住に住んでいた私は、下請けの炭鉱夫であった父（や母）に連れられ、映画に出てくる「その風呂屋」に通った記憶が今でも鮮明に残っている。

夕張の歴史は、1874（明治7）年に外国人で当時の北海道開拓使として任命されていたベンジャミン・スミス・ライマンが夕張川流域に石炭鉱脈の存在が考えられるとした報告から始まる。そして、1888（明治21）年に今でも観光名所として保存されているが石炭の大露頭（鉱脈）が発見されるに至り、入植者の募集が大々的に行なわれ、多数の炭鉱が拓かれ、国内でも有数の、そして良質の産炭地として盛況を誇る事となる。その背景には、天皇を中心とした国家体制のもと、近代国家への脱皮を図るとともに富国強兵路線（帝国主義への道）を邁進し始めていた明治政府にとって、軍需産業を強化・発展させる上で石炭産業を「国策」として推

### 目 次

□夕張—福島—沖縄 そして TPP	石田 悟 …… 79	□辰野高司先生を偲ぶ 寺岡章雄 …… 93
□ミニゼミ：ダビガトラン承認要件の検討	川上美登里 …… 85	□医薬品ネット販売 東京高裁判決に対する声明 …… 95
□科学技術・薬系分野の女性の男女共同参画	寺岡敦子 …… 89	□新薬学者集団 2012 年度総会の報告 …… 96
□今日も明日も日曜日 (22)	三原啓子 …… 92	□会員だより 2012 …… 101
		□第 11 回運営委員会報告 …… 103
		□第 1 回運営委員会報告 …… 104